

# 競技注意事項

- 本大会に適用する規則は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則および大会規定による。  
※ 競技規則 TR5.2 に適合しないシューズの使用は認めない。
- ウォーミングアップについて
  - ウォーミングアップは、補助競技場および、競技場周辺を利用する。  
一日目9時45分、二日目9時15分までは、競技場トラックを利用することができる。  
ただし、開会式の最中は控えること。
  - 公式練習以外の投てき練習は、一切禁止する。メディシンボールを投げて良いのは、補助競技場トラックの内側の所のみ。
- 招集について
  - 招集所（競技者係）は、メインスタンド1Fロビーに設ける。
  - トラック競技は、競技開始時刻2時間前から競技開始時刻20分前までに、競技者係でコール用紙に○をつける（一次コール）。その際、1500mは腰ナンバーカードを、3000m以上の競技では別ナンバー・腰ナンバーカードを受け取る。その後、競技開始時刻5分前に現地で最終コールを行う（二次コール）。
  - フィールド競技は、競技開始時刻2時間前から競技開始時刻40分前までに、競技者係でコール用紙に○をつける（一次コール）。その後、競技開始時刻25分前に現地で最終コールを行う（二次コール）。
  - 混成競技は、1日目・2日目共、第1種目前に招集場で招集用紙に○を付ける（一次コール）。トラック種目の場合は20分前・フィールド種目の場合は40分前とする。2種目以降は、一次コールはなし。現地で競技役員の点呼（二次コール）を受ける。1500mの腰ナンバーは各校で準備する。
  - リレーオーダー用紙は、二次の招集完了時刻60分前までに競技者係に提出する（一次コール）。用紙は競技者係に準備してある。その後、競技開始時刻5分前に現地で最終コールを行う（二次コール）。
  - 最終コール（二次コール）の代理人は認めない。多種目出場する競技者の招集時間や試合時間が重なる場合は、本人が最初の種目の一次コールの際に申し出て、指示を受けること。
- 競技について
  - トラック競技
    - レーンは、プログラム記載のレーンとする。
    - スタートはイングリッシュコマンドを用い、1回の不正スタートで失格とする。明らかな不適切行為でないと審判長またはスターター主任が判断した場合は、審判長またはスターター主任がグリーンカードを呈示して当該競技者に注意を与える。
    - ナンバーカードは胸部・背部ともにしっかりと付けること。800mまでの競技の腰ナンバーは、各校で準備すること。
    - 決勝の組み合わせレーンは、番組編成員が決定し、招集所に掲示する。
  - フィールド競技
    - 試技は、プログラム記載番号順とする。
    - 跳躍種目のナンバーカードは、胸か背どちらか一方だけでよい。
    - 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下記の通りである。練習の高度は、審判員の判断で行う。

走高跳 男	(練) 1.40	1.45 - 50 - 55 - 60 - 65 - 70 - 75 - 80	以降3cmきざみ
走高跳 女	(練) 1.10	1.15 - 20 - 25 - 30 - 35 - 40 - 45 - 50	以降3cmきざみ
走高跳(八)	(練) 1.25	1.30 - 33 - 36 - 39 - 42 - 45 - 48	以降3cmきざみ
走高跳(七)	(練) 1.00	1.05 - 08 - 11 - 14 - 17 - 20 - 23	以降3cmきざみ
棒高跳 男	(練) 1.90	2.00 - 10 - 20 - 30 - 40 - 50	以降10cmきざみ
棒高跳 女	(練) 1.70	1.80 - 90 - 2.00 - 10 - 20 - 30	以降10cmきざみ
- その他
  - スパイクのピンの本数は11本以内とし、長さは、走高跳・やり投が12mm以内、その他の種目が9mm以内とする。また、先端近くで少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合しなければならない。
  - 明らかな不適切行為でない場合でも同一競技者が繰り返した場合は、不適切行為でイエローカードを呈示する。個人種目においてイエローカード累積2枚で失格(除外)となり、失格となった種目以後に行われる競技(リレーを含む)に出場することはできない。
  - 三段跳の踏切板は男女とも9m、11mの地点に設置する。
- 競技用具について
  - やり以外は、主催者が準備したものを使用しなければならない。
  - やりは、検査を受けて自己のやりを使用できる。  
検査は、2日目9:20から10分間  
100mゴール地点の用器具庫前にておこなう（混成競技も同時刻）
- その他
  - 競技中に発生した傷害・疾病についての応急処置は主催者において行うが、以後の責任は負わない。
  - 貴重品は、各自・各チームで管理すること。万一被害にあっても主催者は責任を負わない。